

大黒さんの製作手順

1 大黒本体づくり



長さを決める
むしろ1枚分の長さ

3 ベルトは2本の方が締めやすい

2



そぐいたわらを並べる
大黒さんをつくるのに全体で500小束

4



そぐいたわらの上に30小束を同一方向に
並べる

5

交互向きで20小束を束にくくり芯を作る。結び目は上にしておくと松明に据え付けやすい。

6



締め帯は中心より
上部へ 本締め縄
はそれより上部

芯を中心に巻き寿司状態で上部を本締めする



男結び2回くくり。

7



本締めは2重廻し

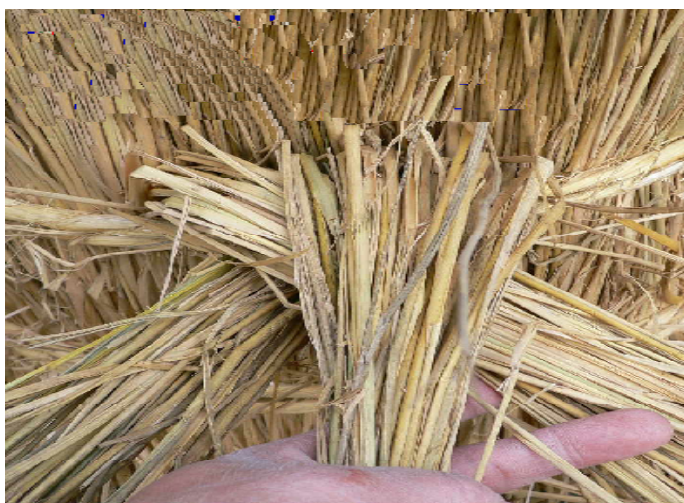
この縄は長く残しておく。松明に固定するとき使う

8



下部は男締め1回結び

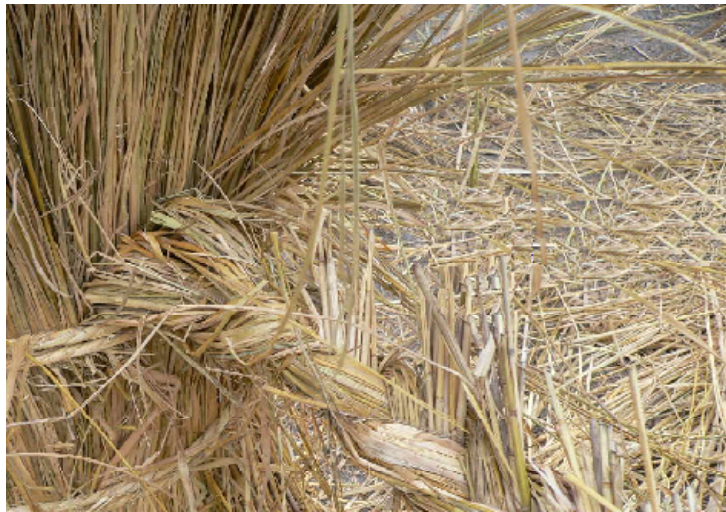
9 耳と尾っぽづくり



大黒さんの耳と尾っぽを三つ編みで結う

- 1 右から左へ折り曲げる
- 2 左から右へ折り曲げる
- 3 真ん中から中心へ折り曲げる

10



絶えず同じ位置で差しワラを行うと
きれいに仕上がる。

12



慣れてきたら差しワラをあまり出さないようにすると後で切りそろえる手間が省ける



尾っぽは本締めの結び目のところから出す。
耳と尾っぽの長さは一広半。三つ編みの最後は
ほどけないように2本に分けわら編みをする。

1 3



締めた縄を通すというのは指が入らないので引っ掛け具を使うとよい。

ポイント：通したい縄を引っ張るように持って金具をひねるようにしてコジて通す。

1 4



耳は内巻きにして上の簡易図のように別縄を使って、上部のしめ縄で止める。本締め縄の2点を取り固定する。

1 5



尾っぽも同様に本締め縄に折りたたむように固定する。その際、尾っぽの先が松明に取付けたとき、空に向かって伸びるように取り付ける。

1 6



よだれかけづくり

17



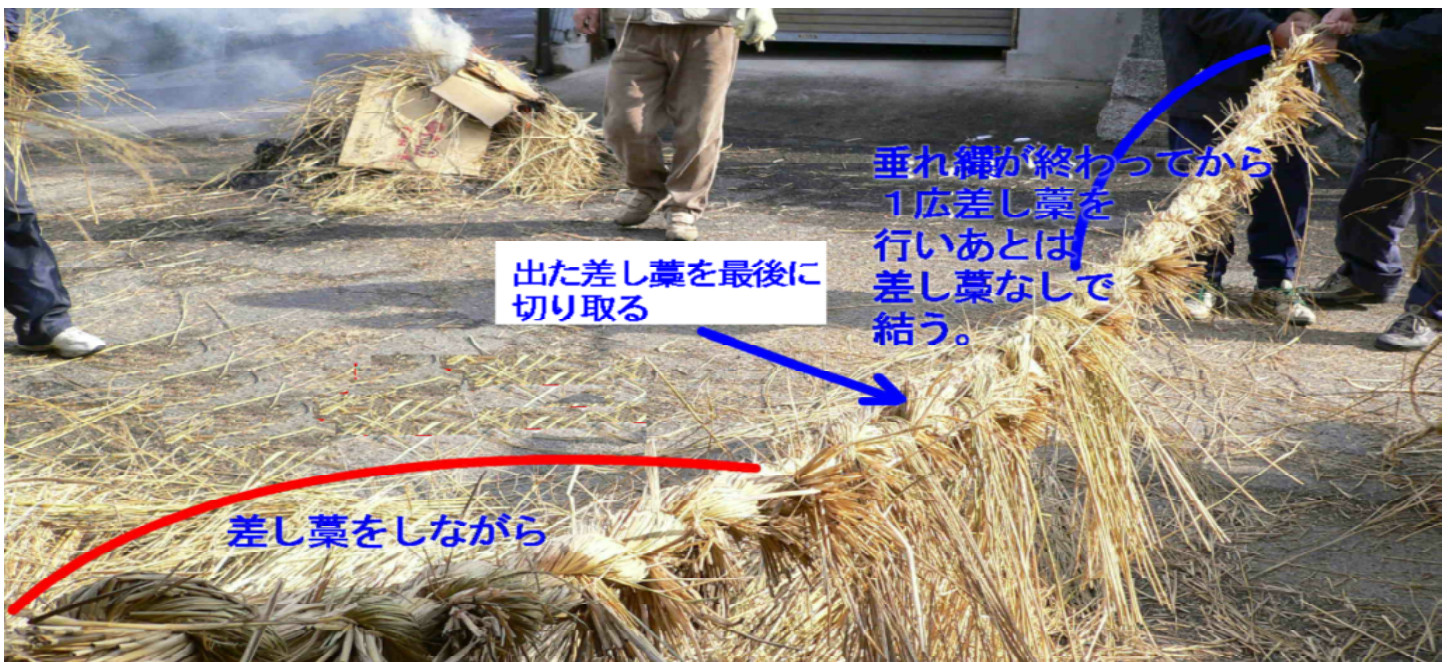
よだれかけの藁の量は両手で一握り程度を絞る

19



お互いに右にひねり、右側の束を上、左側の束を下にひねりながら持ちかえる。

20



一広まで編んだところから12の垂れ藁を編み込んでいく。垂れ藁は穂先側を編み込む。入れた分も一緒に右にねじる。同時に差し藁を入れてねじっていく。

18



藁をとっくり結びにして柱にくくりつける

大黒さんの取付け

2 1



2 2



松明の尾っぽから見て、よだれかけの太い方が右側に来る。松明の頭部背竹の上部によだれかけを廻し結び止める。その上に大黒を載せて竹を打ち込む。大黒についていた結び縄で竹に縛り固定する。前部には別縄で竹と結んで固定する。